

ボウリング部大会結果報告～見事 V2 達成!～

6月11日(土)12日(日)の二日間、群馬県のパークレーン高崎で、第21回 関東地区高等学校対抗ボウリング競技大会が開催され、2年生の濱崎りりあ選手と、崎山穂花選手が出場しました。昨年中は、新型コロナウイルス感染症の影響で、保護者を入れての大会はできませんでしたが、今回生徒たちが入学して初めて、保護者の観戦が許されての試合になりました。声援を上げることはNGでしたが、拍手をして選手たちの頑張りをたたえました。二人の活躍が見事だったので、引率者の手が痛くなるほどでした。



中は、新型コロナウイルス感染症の影響で、保護者を入れての大会はできませんでしたが、今回生徒たちが入学して初めて、保護者の観戦が許されての試合になりました。声援を上げることはNGでしたが、拍手をして選手たちの頑張りをたたえました。二人の活躍が見事だったので、引率者の手が痛くなるほどでした。

8月3日(水)4日(木)に愛知県の稲沢グランドボウルで行われる全日本高校生選手権大会では、今回見つかった課題を克服して、ぜひ個人戦でも優勝してほしいと思います。

(写真：群馬県ボウリング協会提供)

優勝の盾を手にする濱崎選手(左)と賞状を手にする崎山選手(右)

学校対抗戦の2ゲーム目
こんなスコア見たことありますか？



G. 2	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	Tot.							
崎山穂	7 2M	M	M	M	7	▲8	▲8	19	▲M9	▲	411							
濱崎り	9	39	69	96	116	134	152	161	181	201	201							
Team	M	M	M	M	M	9	▲M	M	9	▲9M	439							
Player	30	60	90	119	139	159	188	208	227	247	247							
Team	綾瀬西高校										448 448							
Diff.	197		TOT. Pin Fall		850		TOT. Hōcp		0		TOT. Bonus		0		TOT. Points		850	
											Km/h 24,80							

他校の生徒たちとは、ジュニア時代からのつきあいがあり、ライバルなのに和気あいあいで、6時間を超える熱戦後に、互いの健闘をたたえあいながら写真撮影をする姿がとても印象的でした。ほぼ休憩なしに、連続で何ゲームも投球し続けるボウリングというスポーツは、想像以上にストイックでした。